

NPO法人サロン2002 公開シンポジウム2018

部活動を語ろう!

— 高校サッカー百年を機に —

そもそも部活って何? — 国際比較・歴史的背景・重要課題

中澤 篤史 (早稲田大学、全国高体連研究部活性化委員会アドバイザー)

日大悪質タックルと体操問題から見えるもの

中小路 徹 (朝日新聞社、スポーツ政策研究会幹事)

少子化時代の部活動

嶋崎 雅規 (NPO法人サロン2002理事、国際武道大学)

ユースリーグとU-18フットサルから見えるもの

中塚 義実* (NPO法人サロン2002理事長、筑波大学附属高校、全国高体連研究部活性化委員長)

※コーディネーターを兼ねる

2018.9.17 (月祝) 14時

桐陰会館 (筑波大学附属中学・高校 敷地内)



主催: 特定非営利活動法人サロン2002

日時: 2018 (平成30) 年9月17日 (月祝)
14:00 ~ 17:00 (受付13:30 ~)

※懇親会17:30 ~ 19:00

参加費: 2,000円 (ただし学生は無料)

※懇親会参加費は3,000円 (学生1,500円) 程度を予定

会場: 桐陰会館

〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1
(筑波大学附属中学・高校 敷地内)

東京メトロ 有楽町線 護国寺駅 5番出口より徒歩8分
東京メトロ 丸ノ内線 茗荷谷駅 より徒歩10分

参加申込: 下記アドレスからご登録ください。

<https://goo.gl/7Fk5Xi>

NPO法人サロン2002オフィシャルサイトの「お知らせ」からも申し込むことができます。

<https://www.salon2002.net/>

事務局: salon2002.info@gmail.com

TEL 050-5213-7847 (担当: 岸・皆川)



本シンポジウムの進行と内容

第1部 プレゼンテーション(14:00～15:45)

1) コーディネーター(中塚)より

本シンポジウムの背景、進め方を共有し、「高校サッカー百年」をざっと振り返ります。

2) 演者① 中澤篤史 そもそも部活って何?—国際比較・歴史的背景・重要課題

これから部活動をどうするかを考えるために、日本のいまの部活動の姿は、当たり前ではない、ということを示す2つの視点から示します。1つは国際比較の視点で、海外はどうなっているのかを検討しながら、「日本」の部活動を考え直します。もう1つは歴史的背景の視点で、昔はどうだったのかを検討しながら、「いま」の部活動を考え直します。その上で、これからの第一歩として取り組むべき重要課題として、生徒の生命と教師の生活を守らねばならないことを問題提起します。

3) 演者② 中小路徹 日大悪質タックルと体操問題から見えるもの

日大アメリカンフットボール部の悪質タックルと、体操界の暴力・パワハラ事案からみえる諸問題は、運動部活動にも通底するものです。過度な上意下達、選手の自主・自立が弱い環境、狭い世界の閉鎖性、勝利至上主義、そして、暴力指導の負の連鎖。スポーツ界の不祥事が続く中、二つの問題が織りなす具体的な現象から、部活動の現状と課題を提示していきます。

4) 演者③ 嶋崎雅規 少子化時代の部活動

「ブラック部活動」と揶揄される現在の運動部活動では、休日もない過度の活動や顧問主導型の勝利至上主義的活動が問題とされています。しかし、一方では少子化による生徒数の減少、顧問の高齢化や実技指導力不足によって部活動が成り立たないという問題も起こっています。こうした部活動の現状を明らかにしたうえで、少子化や部員不足に対応したラグビーの取組みを紹介し、少子化時代の「これからの部活動のあり方」を提言していきます。

5) 演者④ 中塚義実 ユースリーグとU-18フットサルから見えるもの

補欠ゼロ・引退なし・自主運営のサッカーリーグ「DUOリーグ」の創設(1996年)、リーグ構想が公認化される中で見えてきた教育の論理とスポーツの論理の間にみられる“壁”(2004年)、U-18フットサルの黎明期からNPOサロンによる全国大会開催(2017年)などの事例を通して、部活動の可能性と課題を語ります。定点観測を続けながら感じるさまざまな“変化”にも言及します。

第2部 ディスカッション(16:00～17:00)

会場全体で意見交換します。

演者プロフィール

● 嶋崎雅規 (国際武道大学体育学部教授 / NPO法人サロン2002理事)

1962年東京生まれ。早稲田大学第一文学部文学科日本文学専修卒業。1986年4月より帝京中学・高等学校国語科教諭。同年ラグビー部を創部、以後29年間高校ラグビー部の指導にあたる。その間、全国高体連研究部活性化委員、東京都高体連研究部委員長、東京都高体連ラグビー専門部常任委員などを経験。2002年3月筑波大学大学院体育研究科修了。専門は体育・スポーツ経営学。主に学校運動部活動を研究テーマとしている。2015年4月より現職。著書に、『Change! みんなのスポーツ』(不昧堂、2002)、『日本のスポーツ界は暴力を克服できるか』(かもがわ書店、2013)、『運動部活動の理論と実践』(大修館書店、2016)、『よくわかるスポーツマネジメント』(ミネルヴァ書房、2017) など。

● 中小路徹 (朝日新聞社「スポーツと社会」担当編集委員)

1968年、東京都出身。京都大学でサッカー部。1991年、朝日新聞社入社。サッカーを中心にスポーツを担当し、2002年W杯ではソウル支局で韓国サイドを担当。現在は、競技の枠を越え、部活動の在り方、スポーツ事故防止、暴力的指導対策など、スポーツ環境全般を考える取材をしている。

● 中澤篤史 (早稲田大学准教授)

1979年大阪生まれ。東京大学教育学部卒業。東京大学大学院教育学研究科修了。博士(教育学、東京大学)。一橋大学講師・准教授を経て現職。専門はスポーツ社会学・身体教育学・社会福祉学。

スポーツ・身体・人間に関連する社会現象を、社会学を中心とした社会科学的アプローチから探究しています。とくに、運動部活動のあり方や問題などを専門的に研究しています。主著は『運動部活動の戦後と現在：なぜスポーツは学校教育に結び付けられるのか』(青弓社、2014)、『そろそろ、部活のこれからを話ませんか：未来のための部活講義』(大月書店、2017年)。趣味はコーヒーと囲碁。

● 中塚義実 (NPO法人サロン2002理事長 / 筑波大学附属高校教諭)

中・高・大・院と、異なるタイプの部活動でサッカーを満喫したのち1987年より現職。保健体育科教諭・蹴球部顧問として定点観測続行中。筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ前理事長(7月まで)、全国高体連研究部活性化委員長、東京都サッカー協会フットサル委員会ユース(2種・3種)部会長など多種多様な活動に関わる中で、自分自身の「働き方改革」に取り組んでいる。著書に『少年のためのサッカー入門』(長岡書店)、『日本のスポーツ界は暴力を克服できるか』(かもがわ書店)、『運動部活動の理論と実践』(大修館書店) など。

特定非営利活動法人サロン2002とは

特定非営利活動法人サロン2002は、スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”とするNPOです。

全国各地にいる約100名のメンバーは、学校関係者、スポーツ指導者やトレーナー、スポーツクラブの運営に携わる方、フットサルや草サッカーの関係者、メディア関係者、サポーターやボランティア、スポーツ行政に携わる方や競技団体関係者、医者や弁護士、アーティストなど多種多様です。さまざまな角度からスポーツに携わり、“志”の実現に向けて活動する者で構成されるのが「サロン2002」です。

NPO法人サロン2002の主たる活動は、2018年7月で通算263回となった月例会の開催と、その内容を軸とするホームページの運営です。本公開シンポジウムは2001年度よりほぼ毎年行われ、人と情報の行き交う場として定着しています。

詳細はホームページ<<http://www.salon2002.net>>をご覧ください。

サロン2002公開シンポジウム

2001年度	FIFAコンフェデレーションズカップ総括
2002年度	FIFAワールドカップ総括
2003年度	地域で育てるこれからのスポーツ環境
2004年度	totoを活かそう!
2005年度	クラマーさん、ありがとう!
2006年度	2006年ドイツで感じたこと
2007年度	サッカー観戦を楽しもう! ースタジアム編
2008年度	地域からみたJリーグ百年構想
2009年度	2019年ラグビーワールドカップを語ろう!
2010年度	育成期のサッカーを語ろう!
2011年度	高校サッカー90年史を語ろう!
2012年度	U-18フットサルを語ろう!
2013年度	スポーツクラブの法人化を語ろう!
2015年度	スポーツで“ゆたかなくらし”を!
2016年度	日本サッカーのルーツを語ろう!
2017年度	Before2002,After2020-サロン20周年記念

サロン2002設立宣言

(2000年4月1日)

我々は、以下に「サロン2002の“歴史”」、「サロン2002の“志”」及び「サロン2002の“会員”」を述べることにより、ここにあらためてサロン2002の設立を宣言する。

【サロン2002の“歴史”】

サロン2002は、社会学、心理学等の専門的立場からサッカーの分析・研究・報告に従事していた「社・心グループ」(財団法人日本サッカー協会科学研究委員会の研究グループの一つで、1980年代後半からこの名称で活動)を前身とし、1997年からは研究者という枠にとらわれない、幅広い人材によって構成されるゆるやかな情報交流グループ「サロン2002」として活動を行ってきた。

【サロン2002の“志”】

サロン2002は、サッカー・スポーツを通して21世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指すことを“志”とする。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを超えた幅広いネットワークを築き上げ、全国各地にサロン2002の“志”の輪を広げ、大きなムーブメントとなることを目指す。

サロン2002の“志”を実現する上で、2002年FIFAワールドカップ韓国/日本大会は大きな節目であると認識する。国内外の様々な人々と協力しながら、この世界的なイベントの“成功”に貢献するとともに、同大会後の“ゆたかなくらしづくり”のためにできることを考え、行動する。

【サロン2002の“会員”】

サロン2002は、前項の“志”を同じくする人たちのゆるやかなネットワークである。

サロン2002の“志”に賛同した個人であれば、誰でも、“会員”となることができる。ただし会員は、サロン2002からの“Take”を求めただけでなく、サロン2002に対して、また社会に対して何が“Give”できるかを常に考え、“Give and Take”の姿勢でいるということが前提である。

サロン2002は、会員に対して短期的な成果は求めない。長い目で見た“Give and Take”の関係が成り立っていればよい。即座のアウトプットが困難であっても、いずれ何らかの形で“Give”を考えている人なら“会員”となることができる。

入会案内

1 NPO法人サロン2002 会員

<年会費10,000円>NPO法人の総会議決権を持って運営に参画し、同時にスポネットサロン2002のメンバーにもなる。

2 スポーツ文化ネットワーク・サロン2002 メンバー

<年会費3,000円>NPO法人サロン2002が運営するネットワークのメンバーとして、様々な情報に接し、また発信する機会を持つ。

3 NPO法人サロン2002 賛助団体

<年会費30,000円>NPO法人サロン2002の目的に賛同し、活動を賛助する。広報誌に広告掲載の機会を持つ。

ご入会はウェブサイト (<http://salon2002.net>) よりお願いいたします。



サロン2002は
スポーツ・フォー・トゥモロー・
コンソーシアムに加盟しています

特定非営利活動法人サロン2002
〒130-0022
東京都墨田区江東橋3-5-2 サーストンビル1階
<http://salon2002.net>

